

市民憲章5 若い力を育て、夢と活気のみなぎるまちをつくります 【次世代育成・市民交流の分野】

国際理解教育推進事業 3,595万9千円
英語教育指導員を配置し、小学校のモデル校で、1年生から英語教育を実践するための研究を進めます。また、中学校のモデル校でも、英語科の授業を全て英語で進めるなど、「使える英語」の指導充実を図ります。



幼稚園一般経費 1億2,995万3千円
入園児の保育環境の向上を図るために、特別支援の担当教諭や、3歳児保育の担当教諭の配置基準を保育所と統一します。

中学校給食配膳室整備事業 3億8,700万円
平成27年度から給食センターの運用を始めるために、各中学校の施設を整備します。

小1すこやか支援事業 880万8千円
小学1年生が、学校生活にスムーズになじめるよう、きめ細かな指導をするために、市単独費で支援員を配置します。

湖東定住自立圏学校給食センター管理運営事業 1億4万8千円
給食センターを運用するために食器・厨房用品などを購入します。平成27年2・3月に試運転を行います。



▲給食センター建設予定地（右奥の建物は彦根総合地方卸売市場）

市民憲章3 人権を尊び、お互いに助け合い、信頼しあうまちをつくります 【人権・福祉・安全の分野】

集会所設置補助事業 708万3千円 **医療機器の整備** 5億円
新たに、老朽化した集会所の耐震化の改修について助成を拡大します。耐用年数を経過した、医療機器を新しくするほか、心臓リハビリステーションシステムを導入します。



▲市立病院

介護保険基盤整備事業 2億1,160万円
小規模特別養護老人ホームなどの公的介護施設の整備をする事業者に補助金を交付します（8箇所）。

消防車両整備事業 1億6,806万6千円
消防団に配備している消防ポンプ車や消防署北分署のタンク車を購入します。消防署北分署に配備しているはしご車をより高機能な25メートル級の屈折式のものを購入します。



▶はしご車イメージ

相談支援事業 6,685万円
障害のある人からの相談件数の増加や相談内容の複雑・専門化に対応するため、県内で初めて「基幹相談支援センター」を設置します。

がん検診事業 6,850万5千円
がん検診の受診料を500円（胸部レントゲン検査については200円）にするとともに、肺がんなど死亡率の高いがんへの予防対策を検討します。

その他

議会開放推進事業 414万円
市民に分かりやすく開かれた議会を目指し、本会議をインターネットから中継（生放送・録画）できるようにするために老朽化した議場の映像・音響機器を入れ替えます。



▲彦根市議会議場（3月定例会）

知事選挙執行経費 2,850万円
大型商業施設での期日前投票を実施します。



彦根市総合計画後期基本計画策定経費 429万8千円
「彦根市総合計画後期基本計画」を策定するために、審議会を開催します。

電子入札運営事業 607万9千円
談合などの不正行為の防止や、参加業者の利便性の向上などのために、電子入札システムを導入します。

市民憲章4 心とからだを鍛え、働く喜びに満ちたまちをつくります 【生涯学習・産業の分野】

地区公民館整備事業 529万2千円
旭森地区公民館の空調設備の改修工事などを行います。



▲旭森地区公民館

経済活性化対策住宅改修等促進事業 4,522万2千円
地域経済の活性化を図るため、住宅リフォーム制度を改め、住宅改修のみならず外構工事などにまで補助を拡大し、より多くの業者への波及効果を目指します。

農村体験民泊活動推進事業 38万5千円
市内での農村体験を推進するため、受入先の家庭を支援します。

中心市街地活性化調査事業 301万2千円
新しい「中心市街地活性化基本計画」を策定するために、検討・調査を行います。

経済活性化委員会事業 598万7千円
「彦根市経済活性化委員会」を設置し、中小企業の活性化に向けた調査・研究を行うなど、地域経済の促進に向けた取り組みを進めます。

彦根夏の陣開催事業 2,222万1千円
夏の陣のフィナーレを飾る「彦根ばやし総おどり」について、二部制の採用や踊りの編曲などリニューアルを行います。



▲彦根ばやし総おどり大会（平成25年）

全国城サミット開催事業 1,480万円
10月1日～11月30日に「彦根城フェス」を、11月28日～同30日に「全国城サミット in 彦根」を開催します。